

季節にまつわる言葉のお話

昨日、今日は雨模様のわりに気温が下がらず、厚着をしていると蒸し暑さも感じる日でしたね。あと10日ほどで春分ですが、このままいくと、今年は関東地方では「春一番」は吹かなかった、ということになるかもしれませんね。

おとし(2023年)2月のつぶやきでも

取り上げましたが、「春一番」とは立春から春分までの間に吹く、強い南風のことを言います。気象庁による発表の基準には地方によって違いがあるようですが、日本海側に低気圧があり、南風によって気温が上がる、というところは共通しています。



日本では四季がはっきりしているため、昔から季節ごとの天気の様子や自然を表す言葉がたくさんあります。「春一番」もその一つですね。この時期に他に思い浮かぶ言葉としては「三寒四温」や中国の砂漠地帯から飛来する「黄砂」などがあります。

「三寒四温」については、4年生以上の理科の授業で扱います。春先になり、

大陸のシベリア高気圧が弱まるにつれ、中国南部で活発になる長江気団(揚子

江気団)の一部が偏西風によってちぎれ、移動性高気圧となって日本にやってき

ます(このとき黄砂も一緒に偏西風にのって日本にやってきます)。高気圧と高

気圧の間には低気圧ができるため、天気が良い日と悪い日が交互に訪れ、気温

も周期的に変化することを表した言葉です。

今年、暖かい日と寒い日の温度差が

大きく、体調をくずしやすい気候だった

と思います。春らしい暖かい日が続くよ

うになるまでもう少しの辛抱ですね。植

物や動物も少しずつ活動し始めているよ

うなので、外に出たときはそちらにも目を

向けてみてはいかがでしょうか。



25/3/13 (薄手のセーターでもちょっと暑かった) あん Do